

凍結から 水道を守りましょう!

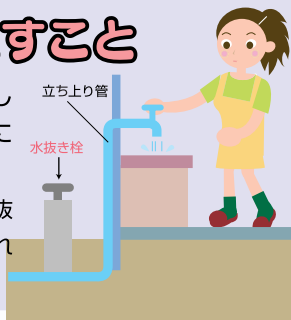
水道凍結の主な原因は水抜き忘れ
水道管は、気温がマイナス4℃くらいまで
下がると凍結します。



凍結を防ぐには

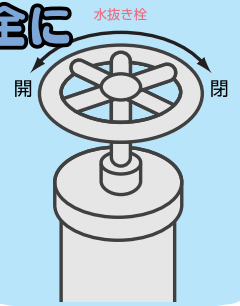
忘れずに水を落とすこと

水道の蛇口を全開にして水を出したまま水抜き栓のハンドルを右に回してキッチリと閉めてください。
※水道の立ち上り管の中の水は、水抜き栓を閉めると同時に地下に排出される仕組みになっています。



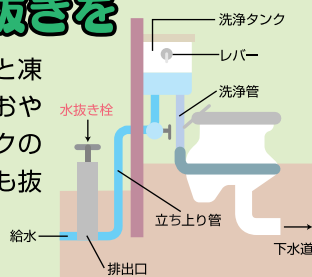
水抜き栓の開閉は完全に

水抜き栓の開閉を中途半端にしておきますと排出口から地下に常時漏水してメータが回り思わぬ使用料となりますので気をつけてください。



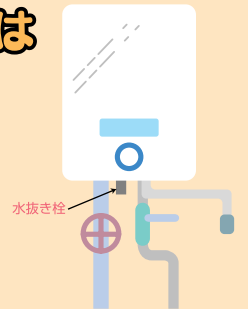
水洗トイレも水抜きを

水洗トイレも水抜きを忘れると凍結し洗浄できなくなります。おやすみ前にトイレ内にあるタンクの水を排出し立ち上がり管の水も抜いてください。



特殊器具の取り扱い

給湯ボイラーや湯沸器などは水抜き栓を閉めてからタンクの中の水を抜いてください。特殊な器具は使い方を知る事が大切です。
なお、特殊器具の修理は必ず専門の方にみてもらってください。



万一凍結させた場合は...

- 蛇口や水道管に濡らしたタオル等を巻きゆっくり湯を注いで水道管を温めてください。ヘアードライヤーの温風も効果があります。
※火気を使っての解凍は火災の恐れがあります。絶対止めてください!
- 電気解凍機は、水道管の隠れた部分が異常過熱し、火災につながる場合があります。安全上からも指定給水装置工事業業者へ依頼することをお勧めします。
- 解凍できない時は、裏面の指定給水装置工事業業者に依頼してください。

●給水装置は水道使用者の皆さんが維持管理するものです。大切にしましょう。

●解凍費用は実費となります。

●凍結破損により、発生した漏水水量は基本的にお客様のご負担となります。